


医学部 新入生歓迎企画

4/29-SAT-

上級生もOK!!

せっかく病気を治療した
患者を、
その病気を生んだ
環境になぜ戻すのか。



医学生、新入生
だからこそできる
SDHワークショップ

元世界医師会長マイケル・マーモット卿の著書
“**The Health Gap**”はこの一文から始まります。
社会的な要因がいかに関々の健康に悪影響を
与えているのか、それを取り除くために世界中で
どんな取り組みがなされているのかが記されて
います。

患者さんがもつ“やまい”の本当の意味を、そ
の真の理由を、生活と労働の視点でとらえなお
すことを「**上流診断**」といいます。患者さんの話
に耳を傾け、ここに寄り添い、どこまでも探求
するところをもつ、これさえできれば、あなたも立
派な上流診断士です。その人を、生活を、社会
をまるごと診るということ、みんなで考えてみま
せんか。

当日は、上流診断について学んだあとに、実際
のケースを基に学生同士で議論します。どうして
この疾患にかかってしまったのだろうか。他に隠れ
ている問題はないだろうか。疾患の治療だけし
て家に帰ったら、また同じことの繰り返しになる
のではないだろうか。生活そのものを改善する
には何ができるだろうか。こんなことを考える
ワークショップです。

代々木病院 医学生室
〒151-8556 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL03-3404-7680 MAIL yo_igakusei@tokyo-kinikai.com

健康の社会的決定要因の視点からアプローチする実践的ケースカンファレンス・ワークショップ

SOCIAL DETERMINANTS OF HEALTH

プログラム・14時開始

- 13時30分：開場・受付開始
- 14時00分：開会・アイスブレイク
- 14時20分：ケースカンファレンス
- 16時20分：懇親会
- 17時30分：閉会



お申込み

代々木病院医学生室
参加申し込みは、メールタイトルに「4/29参加希望」として、メール本文に①氏名、②大学名、③学年、④電話番号の四点を入力し以下に送信してください。
yo_igakusei@tokyo-kinikai.com

講師紹介

水本潤希

(みずもと じゅんき)

2009年東京大学理科3類入学。

在学中は、全国医学生ゼミナール等の学生による自主ゼミ活動で活躍。

2015年東京大学医学部卒業。

同年、「日本で一番小さな臨床研修病院」である愛媛生協病院にて研修開始。2017年4月から「CFMDせとうち」の家庭医療・専門研修を開始。

また、元・世界医師会長マイケル・マーモット医師の著書「The Health Gap」翻訳チームの一員としても力を発揮している。



-会場-

エムワイ会議室御茶ノ水
ルームA

-アクセス-

東京都千代田区神田駿河台

2-1-20 お茶の水ユニオンビル4F

○JR中央線・総武線「御茶ノ水」駅
御茶ノ水橋口 徒歩2分

○東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅
2番出口 徒歩3分

○東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅
B1番出口 徒歩4分

